



ソフトバンクとの包括連携協定

協定の名称 地域活性化に関する包括連携協定

協定締結日 平成31年2月1日締結

協定の目的 地域活性化と市民サービスの向上

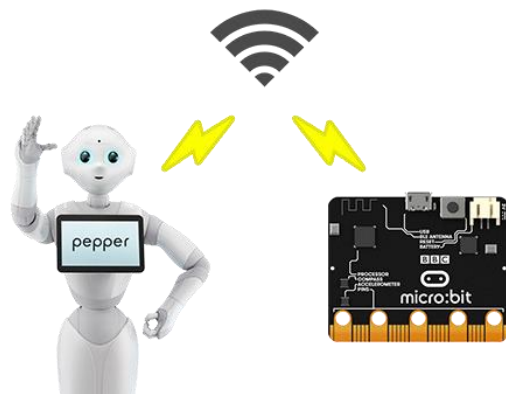
協定項目

- (1)教育や子育て支援に関すること
- (2)観光振興及び観光情報の発信に関すること
- (3)防災・減災及び発災時の対応に関すること
- (4)働き方改革の推進に関すること
- (5)キャッシュレス社会に関すること
- (6)MaaSに関すること
- (7)人材育成に関すること
- (8)その他、両者が合意した事項に関すること



ソフトバンクとの連携事例

① Pepper+IoTプログラミングの導入



©Softbank Robotics

岐阜市では、ソフトバンクより「Pepper社会貢献プログラム」の一環として、市内70校（全小中学校68校＋特別支援学校1校＋不登校特例校1校）にソフトバンクロボティクスの人型ロボット「Pepper」を、市内41校に「micro: bit（マイクロビット）」の貸与を受け、プログラミングを学ぶ授業を実施しています。

② 「はじめてのスマホ決済」講座の開催

岐阜市では、高齢者のICT利活用促進を目的に、市内にお住まいの60歳以上の方を対象に、便利でお得なスマホ決済について楽しく学んで知識を深めるスマホ決済講座を開催します。この講座の開催にあたり、ソフトバンクよりスマートフォンの貸出と講師派遣のご協力をいただいています。

GIFU CITY



ソフトバンクとの連携事例

③ 「MaaS」に関する取り組み

● スマートシティぎふ推進コンソーシアムに構成員として参画

岐阜市では「健幸都市ぎふ」出かけて健康になるまちを実現するため、令和元年度に官民連携体制による「スマートシティぎふ推進コンソーシアム」を設立しています。ソフトバンクは、コンソーシアムの構成員として、岐阜市のスマートシティの推進に取り組んでいます。

● 次世代運行サービスに向けた連携

令和2年6月より、方県・網代地区において、MONET Technologies 株式会社のシステムを利用したデマンドタクシーの運行を開始しています。次世代運行サービスの実施に向け、デマンドシステムを活用したデータ収集を行っています。



④ 人事交流

平成27年度より、岐阜市からソフトバンク株式会社に職員を派遣しています。地域・社会課題の効果的な解決方法を民間企業の日線や立場でも学ぶ取り組みを実施しています。

GIFU CITY